

令和元年度（2019年度）小田原市・箱根町・真鶴町・湯河原町
地域障害者自立支援協議会 活動状況

1 全体会

開催日・場所	議題・概要
第1回 令和元年6月27日（木） 13時30分～15時 小田原市生涯学習センター けやき第2会議室	(1) 平成30年度自立支援協議会事業報告及び決算について (2) 令和元年度自立支援協議会事業計画及び予算について (3) 平成30年度障害福祉サービス等の利用状況について (4) 平成30年度委託相談支援事業について
第2回 令和2年3月24日（火） 小田原市生涯学習センター けやき第2会議室	※コロナウイルス対策のため書面会議による開催 (1) 令和元年度自立支援協議会事業報告及び決算について (2) 令和2年度自立支援協議会事業計画及び予算について (3) 令和元年度委託相談支援事業について

2 運営会議

開催日・場所	議題・概要
第1回 平成31年4月16日（火） 18時～19時 おだわら総合医療福祉会館 会議室	(1) 委員について ➤ 委員改選の年度のため、委嘱委員候補について確認。 (2) 今年度の全体会及び部会について (3) その他
第2回 令和元年6月18日（火） 18時～19時 おだわら総合医療福祉会館 会議室	(1) 全体会について (2) 各部会の進捗状況について (3) その他
第3回 令和元年9月17日（火） 17時～18時 おだわら総合医療福祉会館 会議室	(1) 各部会の進捗状況について (2) その他
第4回 令和元年12月17日（火） 18時～19時 おだわら総合医療福祉会館 会議室	(1) 各部会の進捗状況について (2) その他
第5回 令和2年3月10日（火） おだわら総合医療福祉会館 会議室	※ <u>コロナウイルス対策のため中止</u> (1) 各部会の進捗状況及び来年度の計画について (2) 全体会について (3) その他

3 専門部会

◎相談支援部会

部会長・相談支援センターういず 近文字

【1市3町自立支援協議会】

開催日・場所	議題・概要
<p>第1回（コア会議） 令和元年5月21日（火） 18時～19時 おだわら総合医療福祉会館 会議室</p>	<p>(1) 今年度の部会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 1市3町の相談支援事業所を対象とした全体会を年4回、コアメンバー会議を年4回行う。 ➤ 地域課題の抽出を個別のケースを通して行う。課題の分類、課題に対する既存資源の活用、資源の創設などを検討していく。 <p>(2) 第2回部会（全体会）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 個別ケースの困っていることから、それぞれが抱える個別の課題を抽出し、課題別の分類を行う。 <p>(3) その他</p>
<p>第2回 令和元年7月4日（木） 15時～17時 小田原市生涯学習センター けやき大会議室</p>	<p>(1) 相談支援部会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 部会の位置づけ、活動内容などについて周知。 <p>(2) 「個別ケースが抱える課題から見える地域の課題について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 5グループに分かれ、個別ケースの課題を各3ケースについてあげ意見交換。その後、事例から見えてくる地域の課題をあげた。 ➤ 関わりについて、連携について、福祉サービスについて、地域資源について、医療的支援についてなどの内容があげられた。 <p>(3) 相談支援体制の再編成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 基幹相談支援センターの設置等について現状を周知。
<p>第3回（コア会議） 令和元年7月16日（火） 18時～19時 おだわら総合医療福祉会館 会議室</p>	<p>(1) 第2回部会の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 第2回であげられた意見を種類別に分類した。 ➤ 「課題・家族支援」「インフォーマル・地域支援」「情報」「福祉サービス等」「連携の場・機会」「当事者」に分類された。 <p>(2) 第4回部会について</p>
<p>第4回 令和元年9月25日（水） 15時～17時 小田原合同庁舎2D会議室</p>	<p>「地域課題の分析と地域資源の整理について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 第3回で行われた分類について周知した。 ➤ 相談支援事業所連絡会（9/10実施）の整理から、地域の課題を「新規の相談支援不足」「情報共有、繋がり不足」「資源の不足」があげられたことを報告。 ➤ 各グループで地域課題について、「こうありたい地域」「地域のストレングス」「スモールステップ」の意見

	出しを行った。
第5回（コア会議） 令和元年10月15日（火） 18時～19時 おだわら総合医療福祉会館 会議室	（1）第4回部会の振り返り ▶ 第4回であげられた意見について、各グループごとに説明、意見交換を行い、今年度から部会で取り組む内容について意見集約を行った。 ▶ 「情報共有」「同職種のつながり」を中心に具体的な活動に落とし込んでいく方向で検討することとした。 （2）第6回部会について
第6回 令和元年12月10日（火） 15時～17時 小田原合同庁舎2D会議室	「地域課題の解決に向けた具体的な取り組み方法について」 ▶ 第5回で行われた取り組みの方向性を周知した。今年度は相談員が活用できる「情報共有」について検討を進める事にした。 ▶ 各グループで情報共有の「内容」「運用」「すぐに始められること」を検討、具体案をあげた。 ▶ 案に対する意見交換を行った。その意見を参考にコア会議で役割分担等を決めたあと周知を行う。
第7回（コア会議） 令和元年12月17日（火） 18時45分～19時15分 おだわら総合医療福祉会館 会議室	（1）第6回部会の振り返り ▶ 事業所の空き状況について「情報共有」できるようにする。クローバーで「内容」「運用」を部会の意見を参考にして決める。 ▶ 「内容」は計画相談とGHについてのように、範囲を限定するなどし、まずは試験的にでも動きを取るようにする。1市3町の事業所に対してメールで情報提供をしてもらう。 （2）第8回部会について ▶ 試験的に運用した「情報共有」について伝え、「内容」「運営」のブラッシュアップを行う。 （3）来年度の部会について
第8回 令和2年3月3日（火） 小田原合同庁舎3D会議室	※<u>コロナウイルス対策のため中止</u> （1）情報バンク（仮称）の具体的な運用について （2）次年度の活動内容について

【地域生活支援事業運営協議会】

「地域のニーズに基づく効果的な地域生活支援事業実施のための実態把握事業（国調査・小田原市実施）」実施に係る協議の場として協力依頼があり設置（単年度事業）。

※調査対象・日常生活用具給付費等事業、移動支援事業、日中一時支援事業

※調査方法・サービス利用者及びサービス提供事業者に対するアンケート調査

開催日・場所	議題・概要
第1回 令和元年9月17日（火） 18時～19時 おだわら総合医療福祉会館 会議室	（1）地域生活支援事業の概要について ▶ 地域生活支援事業の内容、利用実績等について事務局が説明。 （2）実態把握調査（アンケート調査）に係る調査項目について ▶ 全国調査のため設定された項目の削除変更はできないが、調査項目を追加することは可能。 ▶ 調査項目等について委員から意見聴取を行った。
第2回 令和元年11月19日（火） 18時～19時 おだわら総合医療福祉会館 会議室	【報告】 （1）実態把握調査（アンケート調査）の実施状況について ▶ アンケート調査の回答内容の概況を事務局が説明。 ▶ 回収率は利用者調査 46.5%、事業所調査 31.64% 【議題】 （1）中間報告（案）について ▶ 報告書フォーマットに沿って事務局が説明。 （2）その他
第3回 令和2年2月18日（火） 18時～19時30分 おだわら総合医療福祉会館 会議室	【報告】 （1）実態把握調査（アンケート調査）の実施状況について ▶ アンケート調査の回答内容の概況を事務局が説明。 ▶ 回収率は利用者調査 62.9%、事業所調査 46.5% （2）前回会議での議論に関する参考資料について 【議題】 （1）最終報告（案）について ▶ 最終報告（案）を事務局が説明。 （2）課題解決の方策について

【県西障害保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンター共催】

開催日・場所	議題・概要
第1回 2市8町相談支援事業所連絡会 令和元年9月10日（火） 15時～17時 小田原合同庁舎 3EF 会議室	（1）令和元年度県西障害福祉圏域相談支援等ネットワーク形成事業計画、相談支援ネットワークアンケート結果の報告 ▶ 圏ナビ受託事業者の太陽の門から3つのネットワークの運営を中心に事業を行うことなどを報告。 ▶ 圏ナビが事業所訪問時に行ったアンケート結果について報告。また、事業所定員の今後の見込みについても報告。

	<p>(2) グループディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ アンケート結果を参考に「地域の課題」をあげ、緊急度と重要度の2軸で分類。「地域のストレングス」をあげ、環境、支援ネットワーク、フォーマル、インフォーマルの視点で分類。 ➤ 上記の分類を参考に、重点的に取り上げる地域の課題をあげ、ありがたいイメージ、活用できるストレングス、すぐにできることをあげた。 ➤ 第4回相談支援部会で整理をすることとした。
<p>第2回 2市8町相談支援事業所連絡会 令和2年2月12日(水) 15時～17時 小田原市生涯学習センター けやき和室</p>	<p>(1) 意思決定支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 第1回基幹相談支援センター連絡会(12/9開催)の資料を使い、相談支援に重要な意思決定支援について説明。日々の支援を振り返る内容になった。 <p>(2) 地域課題についてのモニタリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 「新規の相談支援の受け入れ先不足」「情報共有、横のつながり」「資源不足」の対応策のアイデアを事前アンケートで確認した。 ➤ 事前アンケートで挙げられたアイデアをもとに、地域課題の対応を検討した。
<p>第1回 事例検討会 令和元年10月21日(月) 第1部 16時～17時30分 第2部 18時～19時30分 小田原合同庁舎2D会議室</p>	<p>【講義】GSV(グループスパービジョン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ GSVの目的と効果、ストレングスに注目した視点、進行の仕方等についての講義。 <p>【演習】GSVを用いた事例検討会 ～重症心身障害者・医療ケアがある方の支援について～</p>
<p>第2回 事例検討会 令和2年1月20日(月) 18時～20時30分 おだわら医療福祉会館4階 ホール</p>	<p>【講義】GSV(グループスパービジョン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ GSVの目的と効果、ストレングスに注目した視点、進行の仕方等についての講義。 <p>【演習】GSVを用いた事例検討会 「ずっとこのまちで暮らしたい」～その方らしい暮らしを支えるためにできること～</p>
<p>第3回 事例検討会 令和2年2月27日(木) おだわら医療福祉会館4階 ホール</p>	<p>※<u>コロナウイルス対策のため中止</u></p> <p>【地域移行・定着ネット連絡会】</p> <p>【演習】GSVを用いた事例検討会</p>

◎就労支援部会

部会長・障害者支援センターぼけっと 渡辺直人

開催日・場所	議題・概要
<p>第1回 令和元年7月12日(金) 15時～17時 小田原合同庁舎集団活動室</p>	<p>(1) 今年度の部会運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 第1回部会開催に際し、事前アンケートを実施。 ➤ 圏域(2市8町)の事業所に参加依頼を行う。 <p>(2) 施設外就労の実践報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ ほうあんのぞみ廣瀬氏と梅香園齋藤氏からの、施設外就労の実践報告。施設外就労のメリット・デメリットや業務委託契約に関する内容など、施設外就労の導入について理解を深める。 <p>(3) 「施設外就労について」(グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 事前アンケートの内容と実践報告を聞いて、3つのグループごとに課題点や利点について検討。 ➤ 施設外就労の実施には人員配置と企業との連携が課題。また、事業所間でも連携すれば、受注作業を分担できる。事業所から企業に対して、どのような仕事が受注できるのか発信していくことも必要などの意見があげられた。 <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 8/9に箱根商工会議所を訪問。部会を通じて企業との連携を高めていきたい旨を提案。主に就B事業所との連携は難しいとの回答。部会を通じての連携を断念。 ➤ 9/4にあきさわ園を訪問。農福連携について、積極的に就B事業所等との連携を図りたいとの意向。第3回部会ではあきさわ園をゲストとし、農福連携について取り上げる。
<p>第2回 令和元年10月24日(金) 16時～17時30分 小田原合同庁舎集団活動室</p>	<p>(1) 部会の活動報告と県西圏域の工賃実績状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 県西圏域の工賃実績が県下で最も低い状況を共有。 <p>(2) 事業所間の連携と稼ぐための受注作業の実践報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ コスモス中沼ジョブセンターの小野氏から、受注作業の効率化及び事業所間の連携についてなど、独自のノウハウについての講義。 <p>(3) 作業活動における事業所間の連携と課題について (グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 事業所間の連携や企業からの受注依頼に対応できる仕組みが欲しいとの意見が出される。 <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ あきさわ園の秋澤氏及び(株)DBSの平氏を事業所に紹介。両名より施設外就労等による連携を希望しているとの話をいただく。

<p>第3回 令和2年2月21日（金） 16時～17時30分 小田原合同庁舎集団活動室</p>	<p>(1) 部会の活動報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 事務局より、ひらつか障がい者福祉ショップ「ありがとう」の視察等報告。 ➤ 企業から受注依頼が市役所に入った場合は、メールで情報提供を行う。(9事業所が情報提供を希望) <p>(2) 「農福連携における地域経済活性化について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ あきさわ園の秋澤氏による実践報告。すでに進和学園やよるべ沼代、ほうあん第1しおんなど、収穫や加工販売において農福連携の実績があり、今後も連携を広げていきたいとの意向。 <p>(3) 「地域に必要な資源や仕組みについて」 (グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 第2回部会以降に新たに事業所間で連携が始まった例がある。 ➤ 「ありがとう」の取組を参考に、事業所が共同で作業受注ができると良いが、施設管理者の理解が必要。 ➤ 農福連携は農家の理解が壁となるが、あきさわ園の存在は地域の大きな資源になるのでは。成功例が出てくれば波及効果も期待できる。 ➤ 次年度に向けては、引き続き工賃向上をテーマとする。優先調達法による作業受注の可能性や、事業所間の連携を促進するための環境整備等を取り上げる。
---	--

【小田原・箱根商工会議所表彰式展示】

開催日・場所	議題・概要
<p>令和元年11月18日（月） 14時～16時 湯本富士屋ホテル</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 商工会議所の依頼により、就労支援部会として特別展示に参加。 ➤ 小田原市は「施設外就労実施までのながれ」、県資料「ともに歩む」を展示。ぽけっとは事業所機能等を展示。

【ひらつか障がい者福祉ショップ「ありがとう」の視察】

開催日・場所	議題・概要
<p>令和2年1月24日 15時30分～17時 平塚市役所</p>	<p>視察者：小田原市障がい福祉課・山口／クローバー・毛利 対 応：平塚市障がい福祉課・杉崎氏／ ありんこの会・高橋氏／他3名</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 平塚市役所内に設置された福祉ショップ「ありがとう」の機能、企業や庁内の優先調達による受注依頼を市内の各事業所に振り分ける仕組み、農福連携等の実践報告について説明を受けた。

◎子ども部会

部会長・ほうあんホッと相談カフェ 大水健晴

開催日・場所	議題・概要
<p>第1回（コア会議） 平成31年4月25日（木） 13時30分～15時30分 小田原市役所互助会室</p>	<p>（1）第2回子ども部会の進行について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 「療育の質の向上」について、前年度延期になった宇佐見教諭の講演を行う。後半は「療育の質の向上」に関する地域課題抽出についてグループワークを行う。 ➤ 「療育の質の向上」のなかでも特に「療育支援者の質の向上」に着目して課題抽出を行うこととする。
<p>第2回 令和元年5月28日（火） 10時～12時 小田原合同庁舎3EF 会議室</p>	<p>【講演】 『「こだわり」への対応について-心理学的視点から-』 小田原養護学校・臨床心理士 宇佐見大輔 教諭</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 「療育の質の向上」のために児童通所・計画相談事業所向けに講演。 ➤ こだわりの原因やその対処法について紹介し、療育の中でどのような活動が求められているかを解説。 <p>【グループワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 療育の質の向上について事業所同士で課題の共有。 ➤ あげられた意見を参考に、第5回部会以降で子ども部会の今後の活動方針を検討していく。
<p>第3回（コア会議） 令和元年6月14日（金） 9時～11時 小田原市役所 301 会議室</p>	<p>（1）第4回子ども部会の進行について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 前半は「教育と福祉の連携について」について、小田原養護学校主催の夏の公開講座の1枠を活用し、小田原養護学校が放課後等デイサービス事業所と連携をどのようにとっているかを発表する。 ➤ 後半は討議方式で「教育と福祉の連携」について平常時からの連携と問題が起きた時の連携に着目したグループワークを行い、地域課題・ニーズの抽出を行う。
<p>第4回 令和元年7月26日（金） 13時30分～15時 小田原養護学校 食堂</p>	<p>『教育と福祉の連携について』 （小田原養護学校・夏の公開講座の1枠で実施）</p> <p>【講演】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 小田原養護学校の添田先生より他機関と連携した6事例を紹介。 <p>【グループワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 現状行っている連携の良い点と問題点、よりよい連携のためにどのようなことが考えられるかについて教育機関、障害児通所支援事業所、計画相談支援事業所、行政職員で検討。 ➤ 教育と福祉関係者が直接話し合えた、通常級の教師が養護学校を理解するいい機会になった、教育と福祉の連携は地域格差のある問題ではないかなどの意見が

	上がった。
第5回（コア会議） 令和元年8月30日（金） 9時～11時 小田原市役所互助会室	「地域課題の明確化、取り組み目標の設定について」 （1） 第4回子ども部会の振り返り ▶ 異業種が顔を合わせて話す場は、相互理解にとって良いものとなっている。しかし特に放課後等デイサービス事業所は夏休みのため忙しく、出席率が低迷。 ▶ 教職員の参加も前年度に比べて出席率が落ちており、異業種交流を目的にするのであれば開催方法を再検討する必要もある。 （2） 地域課題の明確化、取り組み目標の設定 ▶ 2グループに分けグループごとに地域課題を樹形図で分類する作業を行う。 ▶ 主な地域課題を『支援の問題』『家庭・生活環境の問題』『連携の問題』『地域社会との交流の問題』の4つに分類し、それぞれの課題ごとにさらに6つほどの課題を抽出した。
第6回（コア会議） 令和元年10月16日（水） 9時～11時 小田原市役所福利厚生室	（1） 地域課題の明確化、取り組み目標の設定について ▶ 2グループに分け地域課題を樹形図で分類する作業を行う。『連携の問題』について『横の時間軸の問題』と『縦の時間軸の問題』に分け、それらをさらに具体的に直面している問題に細分化した。 ▶ 『支援の問題』『家庭・生活環境の問題』『地域社会との交流の問題』を具体的な問題に細分化する作業は次回以降に持ち越すこととする。 （2） 次年度の動きについて ▶ 地域課題の明確化、取り組み目標の設定については来年度も引き続き行う。『療育の質の向上』や『教育と福祉の連携』についての研修会などは次年度も行う。 ▶ 具体的取り組みについて次回話し合うこととした。
第7回（コア会議） 令和2年1月28日（火） 午前9時～11時 小田原市役所福利厚生室	（1） 次年度の活動計画について ～7月：養護学校の夏の公開講座で行う研修内容の調整 ～9月：子ども部会で取り組むべき課題の分類 ～11月：優先課題とその達成目標の設定 ▶ 養護学校の夏の公開講座は行うが、例年5月頃に実施していた「療育の質の向上」に関する講演会は行わず、課題の分類と達成目標の設定を優先的に行う。 （2） 夏の公開講座の内容について ▶ 過去2年間、研修の中で「教育と福祉の連携」について話し合ってきたので、来年度は異なる研修内容にすることとする。「親子関係」と「発達障がいについて」が研修テーマの候補として上げられた。

◎権利擁護部会（障害者差別解消支援地域協議会実務者会議兼）

部会長・神奈川県知的障害福祉協会県西地区施設長会 坂井正志

開催日・場所	議題・概要
<p>第1回（コア会議） 令和元年7月25日（木） 14時～15時30分 小田原市役所第4委員会室</p>	<p>（1）権利擁護に関する座談会の開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 権利擁護について当事者がどのように感じているのか、実際に差別を受けたと感じた経験談など当事者の声を聴く座談会の開催準備。
<p>第2回 令和元年10月8日（火） 14時～15時30分 小田原合同庁舎 3EF会議室</p>	<p>『当事者座談会（ワールドカフェ形式）』</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 障害種別の異なる当事者約4人を1グループとし、部会員がファシリテーターとなった。 ➤ 参加者：全体 33名 内訳：当事者13名／部会員・支援者20名 身体障害（肢体・視覚・聴覚・ALS）5名 知的障害4名・精神障害4名 ➤ テーマ <ul style="list-style-type: none"> ① 障害への不理解・差別・偏見 ② 金銭管理・成年後見 ③ 権利擁護
<p>第3回（コア会議） 令和元年11月21日（木） 13時～14時30分 小田原市役所第4委員会室</p>	<p>（1）第2回部会（当事者座談会）の振り返り・今後の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 参加者の多くが買い物・公共交通機関の利用・病院・職場等様々な場面で障害を理由に対応を拒否されたり、心許ない言葉を言われた経験があった。 ➤ 9割以上が「参加してよかった」「またこのような会の開催を希望する」としており、自分とは異なる障害をもつ方から話を聞くことで、得られた気づきや、自分のことを知ってもらう機会として意義を感じていた。 ➤ 各テーマに対し、時間が足りなかったという声が多く、テーマを絞り発言時間を確保する必要がある。 ➤ 座談会で出た意見をふまえ、部会の今後の取り組みについて意見交換。次回の部会で、具体的な次年度以降の取り組みについてアイデア出しを行う。 <p>（2）障害者差別解消法の相談事案の共有及び検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 不動産仲介業者に障害があることを伝えたら物件を貸せないと断られたという事案について共有。 ➤ 障害者にとって物件選びや住宅環境の確保のために考えられる支援方法を検討、意見交換。

<p>第4回（コア会議） 令和2年2月27日（木） 14時～15時30分 小田原市役所第4委員会室</p>	<p>（1）次年度以降の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 当事者座談会をふまえ、具体的な困りごとの解決のため、テーマや場面設定を絞った当事者座談会等を行い、課題抽出・意見交換を行う。「防災」「買い物」「怖い思いをした経験」がテーマの候補として挙げられた。 ➤ 部会年4回うち1回を座談会とする。テーマに応じて映画上映会の実施等も検討していく。 ➤ 当事者座談会の3つのねらい <ul style="list-style-type: none"> ① 当事者の声を聞き、当事者主体の支援を考える ② 当事者同士が、障がい種別や人によって、困ること、されて嬉しいことの違いや共通点を知る ③ すべての人ができる配慮について考え、ノーマライゼーションの意識を高めること ➤ 差別に関する相談体制の構築、解決に資する取り組みのため、障害者差別解消法の相談事案の共有及び検討についても継続し実施する。 <p>（2）障害者差別解消法の相談事案の共有及び検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 視覚障害者が、セルフレジの利用方法がわからず店員に手伝いを求めたところ、障がいの有無は関係なく金銭授受はできないと断られた事案を共有。 ➤ 店側に求める合理的配慮について検討・意見交換。
---	--

開催日・場所	議題・概要
<p>第1回 令和元年7月3日(水) 10時～11時30分 小田原市役所大会議室</p>	<p>(1) 今年度の課題の確認 (2) 1市3町にある資源を出してみよう(ワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ H30年度に作成した地域包括ケアシステム(小田原版)をもとに、利用している地域資源を「居宅・医療機関・行政・日中活動・計画相談」の枠組みで振り分けていく作業を行う。 ➤ 今年度から訪問看護ステーション(積善会)を部会員に加える。
<p>第2回 令和元年9月3日(火) 10時～11時30分 小田原市役所601会議室</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 意見が出やすくするため、事前に課題戦略(案)を作成し部会員にメール送付し当日意見集約を行った。 ➤ 3つの課題(①社会資源の集約、②他部門との連携、③普及啓発)に関し、①②の課題はWG(各6～7名・数か月おきに開催)を設置し検討することとした。③については、1市3町の動きが統一されていないこと等を考慮し、今後部会で検討する。
<p>第3回 令和元年12月17日(火) 10時～11時40分 小田原市役所602会議室</p>	<p>(1) ワーキンググループの報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 【社会資源の集約WG】掲載前に事前に事業所に許可をとる。改訂は3～5年で考える。 ➤ 【他部門との連携WG】連携を考えることで地域包括ケアシステムの構築につながっていく。各ケースへの安定した支援を地域システムで支えていくイメージで、高齢の包括ケアシステムがモデルになる。 <p>(2) 精神障がい者の居住先確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 不動産との連携について取り組んでいる市町もあるが、本部会では上記2課題を優先的に取り組むため、一旦保留とする。 <p>(3) 精神障がいに関する普及啓発について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 1市3町および保健福祉事務所で取り組まれている普及啓発事業を確認。 ➤ 小田原市単独で実施している事業はハートフェスタのみ。3町による独自の普及啓発はなし。 ➤ 民生委員向けに精神障がいの理解を求める、周知等は県西ブロックの民生委員研修を活用する、精神障がい者が地域で暮らすためには民生委員や自治会長の理解も必要などの意見が挙げられた。
<p>第4回 令和2年2月27日(木) 10時～11時15分</p>	<p>(1) ワーキンググループの報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 【社会資源の集約WG】仕様はカラー18ページ、500部程度を想定、次回WGで配布計画を立てる。データ

<p>小田原市生涯学習センター けやき大会議室</p>	<p>はクローバーに集約し公開する。新規事業所のデータは随時更新するが紙印刷は数年おきを想定。相談支援部会の情報バンクとの連携が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 【他部門との連携 WG】既存の研修会に参加していく。 <p>(2) 普及啓発について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 民生委員向けの研修はさまざまな場所で行われている。障がい者部会にアプローチすることが効果的だと思われる。 ➤ 民生委員が地域で精神障がい者に向き合う際に困っていることが何かをつかむ必要がある。 ➤ 西湘ブロック研修でアンケートを配布する。次年度はアンケートをまとめ、部会として民生委員に発信したい事をまとめる。 ➤ 普及啓発は3か年で計画する。
---------------------------------	--

【社会資源の集約ワーキンググループ】 社会資源マップを作製・配布する

開催日・場所	議題・概要
<p>第1回 令和元年10月23日(水) 13時30分～15時 小田原市役所502会議室</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 社会資源マップについて、平塚市が発行しているマップを参考に作成する方向で考える。 ➤ 医療版・福祉版の2部構成とする。カラー刷りで数年たっても活用できるようなものを作りたい。
<p>第2回 令和2年1月24日(金) 15時～16時30分 小田原市役所202会議室</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 医療版・福祉版で作成する。 ➤ 1市3町分を部会で作成し、1市5町分は圏ナビで作成する。 ➤ 本人に直接支援する資源を載せる、1市3町以外は載せない。医療機関は北小田原病院(南足柄市)も入れる方向で考える。 ➤ 家族会、ピアサポーターなどページ数との兼ね合いで線引きは必要。
<p>第3回 令和2年3月18日(水) 13時～14時 小田原市役所201会議室</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 掲載事業所の選定および配布先を確認。 ➤ 仕様・想定はフルカラー12ページ、500部。ネット印刷を利用し、予算的な余裕があれば上質紙とする。 ➤ データはクローバーで保存しHPで公開する。HP宣伝チラシ作製の必要性については今度検討する。

【他部門との連携ワーキンググループ】

開催日・場所	議題・概要
<p>第1回 令和元年11月13日(水) 13時～14時30分 小田原市役所502会議室</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 精神障がい者への支援をスムーズにしていくための支援を考えることが目的。 ➤ 地域定着支援であり多職種の相互理解を進めたい。精神科と一般科やクリニック、訪問看護と医療機関、病院相談員と福祉事業所の連携などを検討する。 ➤ 「事例検討」を通じて連携を深めていく。
<p>第2回 令和2年1月30日 10時～11時30分 小田原市役所市民相談室</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 事例検討を通じた相互理解を進めていく。数年がかりになることを想定している。 ➤ OHMY や包括の会議など、既存の研修会へ参入していくことも検討していく。